

事務事業名 環境基本計画事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：363

施策：	23 循環型・低炭素・自然共生社会の推進	財務コード	--
基本事業：	04 環境保全活動の推進	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	環境保全活動を行っている人の数 環境保全活動を行っている事業所数	担当課	環境課
		担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民、事業所			<ul style="list-style-type: none"> ・市の環境に関する施策を総合的・計画的に推進するため、環境基本計画を策定する。 ・環境基本計画の施策の成果を評価するために、年次報告書を作成する。 ・筑紫野市役所環境にやさしい行動計画を策定し、市の業務に伴い発生する二酸化炭素排出量の削減に努める。 ・環境基本計画に関する基本的事項を調査・審議する機関として、筑紫野市環境審議会を設置している。（審議会委員：識見者・関係機関からの選出・公募市民 計10名） 						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
環境に配慮して生活している市民の割合が増える。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
環境にやさしい生活を実践している市民の割合		%	59.6	62.8					60
筑紫野市環境基本計画に定めた成果指標のうち目標を達成した指標の割合		%	22.2	26.1					
5. コスト									
事業費		計	千円	2,707	56				
		国	千円						
		県	千円						
		地方債	千円						
		その他 一般	千円	2,707	56				
正職員人工数		人工	0.9	0.9					
正職員人件費		千円	7,226	7,129					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	9,933	7,185					
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		環境にやさしい生活を実践している市民の割合が、3.2ポイント増加しており、順調です。筑紫野市環境基本計画に基づき、環境に関する施策を総合的・計画的に実施することにより、環境に配慮して市民が生活しています。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
平成10年 筑紫野市環境基本条例制定 平成12年 筑紫野市環境基本計画策定			令和3年3月に第三次筑紫野市環境基本計画（計画期間：令和3年度～令和14年度）を策定した。 令和3年4月に筑紫野市役所環境にやさしい行動計画パート（計画期間：令和3年度～令和7年度）を策定した。 令和4年度より、「環境課一般事務事業」へ統合。						